2025
No.79

山本左近NEWS

令和7年 12月 10日　発行所：山本左近政策研究会
〒440-0806愛知県豊橋市八町通1丁目14-1　Tel. 0532-21-7008　Fax. 0532-21-7003
No.79

世界の変化が豊橋・田原にチャンスをもたらす

最近のニュースを見ると、半導体、AI、再生可能エネルギー、防災など、世界の動きが急速に変わっています。こうした変化は、実は豊橋・田原にとって**大きなチャンス**になります。難しい話に聞こえるかもしれませんが、身近な未来につながる話ですので解説します。

《半導体について》

世界的企業のTSMCやIBMに続き、Micronが広島に1．5兆円規模での大型投資を進めているというニュースもありました。

「半導体を日本で安定的に作る流れ」が強まる中、三河地域のものづくり技術が改めて注目されています。精密加工や部品製造が得意な地元企業にとって、新しい取引先が増えるチャンスになります。また**三河港**は自動車を中心とする物流拠点として強みがあり、半導体関連や電子部品をを扱う拠点としての役割が広がる可能性があります。地域の産業にとって追い風と言えます。

《AIやロボットについて》

世界ではAIやロボットの研究開発や活用が一気に広がっており、農業や介護、建設などの幅広い現場で活用が進み始めています。

豊橋・田原で盛んな農業をはじめ、建設や医療・福祉の現場で人手不足が課題となる中、スマート農機や介護ロボット等を取り入れることで、現場の負担を減らしながら生産性を高めることができます。地域全体でスマート化が進めば、若い人にとっても魅力のある仕事が増えていきます。

《エネルギーの分野について》

世界が脱炭素に向かう中、エネルギーの地産地消を目指す田原市などは太陽光（約160MW）や風力（約38MW）などの再生可能エネルギーに加え、国内最大級となるバイオマス発電所を含む約237MWの発電所が稼働を始めています。また廃食油を原料としたSAF製造プラントのみならず、三河港を活用した水素やアンモニアなどの新しい燃料の受け入れを進めることで**合成燃料等の製造拠点となる可能性**があります。地域産業と雇用を支える新たな柱になり得ます。

豊橋技術科学大学などの研究機関と官民連携をさらに強化し、スタートアップや新産業の育成に繋げ、地域の未来を支える新しい動きを加速させるべきです。

《防災について》

南海トラフや津波等の災害への備えが全国で議論されています。豊橋・田原は海に面している地域が多く、避難所や避難道路、堤防整備や情報発信など、日頃からの準備が欠かせません。インフラ整備とともに、デジタル技術を使った防災情報の強化は、住民の安心につながります。

こうした世界や日本の変化は、豊橋・田原の産業、暮らし、未来の仕事と深く関係しています。

つまり**今は、地域が大きく成長できる“絶好のタイミング”**です。

半導体、AI、再エネ、防災、どれもこの地域の強みと相性が良く、次の時代に向けた準備を進めることで、地域の発展につながります。豊橋・田原には、これらのチャンスをつかむ力があります。

いま動くことで、地域の未来は必ず明るくなる。その一助を担えるよう精進して参ります。

前衆議院議員　山本左近

山本左近の活動はこちら

H.P.

《やまもと・さこん》

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼動を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙に自民党比例代表で2期目に立候補するも落選し現在に至る。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

JAPAN as No.1 Again!

前衆議院議員 山本左近

資料解説

日本の半導体 なぜ今重要なのか？

課題と現状

■ **世界市場の拡大**
2030年までに1兆ドル規模（約160兆円）へ倍増
あらゆる基盤技術の中核に半導体が位置づく

■ **日本の地位低下**
1980～90年代：
世界シェア約50%
現在：**10%以下まで減少**

■ **アカデミア投資の不足**

研究者・技術者の減少、アカデミア投資不足

10年先を見据えた
基礎研究が十分に進まない

重点施策

研究開発

・超低消費電力AI半導体
・Beyond 1nmに向けた材料
超低消費電力の次世代AI半導体
“Beyond 1nm” に向けた新材料・新デバイス
高度な集積化・実装技術

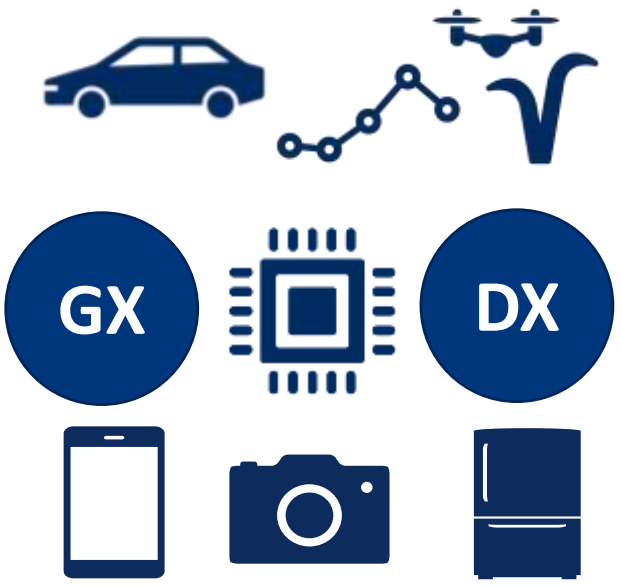
施設整備

・微細加工・解析評価設備の拡充
・大学・国研・企業が共同利用できる共用設備の整備
国際的な研究拠点の形成

人材育成

・半導体専門人材（高度人材＋量的拡大）
・ 人材育成：大学・高専教育強化、国際連携、リスキリング

未来と展望

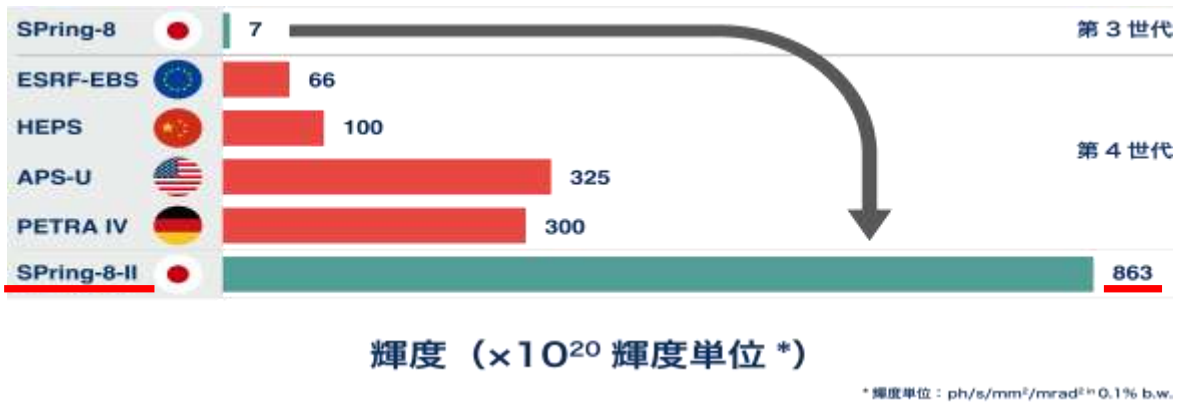


・自動運転、スマートシティ、ロボティクス、医療AI
・GX/DX推進、経済安全保障の基盤

2030-2040年を見据えて
日本の半導体復権と未来創造

SPring-8は、強力な放射光で物質の構造を原子レベルまで解析できる大型研究施設
例えるなら巨大な顕微鏡

SPring-8の高度化について



文部科学大臣政務官の時、世界で圧倒的1位の明るさと質の高い輝度を目指し、SPring8の高度化に向けタスクフォースを組み座長として取りまとめた。今もこの取り組みは高市政権の重要政策となっている。

出典：文部科学省　次世代半導体のアカデミアにおける研究開発等に関する検討会報告書（概要）
ウェブサイトより加工して作成
https://www.mext.go.jp/content/20240712-mx_kenkyou-000037053_1.pdf

山本左近 豊橋事務所　〒440-0806 愛知県豊橋市八町通1丁目14-1　TEL. 0532-21-7008　FAX. 0532-21-7003　info@sakonyamamoto.com

お名前、ご住所等のご確認のお願い
お名前やご住所に変更がありましたら、山本左近事務所までご一報ください。山本左近を応援してくださる皆さまに今後も情報をお届けできるよう努めて参りますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

討議資料